

平成30年度 一般会計 当初予算の概要
後期高齢者医療特別会計

一般会計

●当初予算額

2億449万9千円（対前年度比 8.4%増）

●主な事業内容

派遣職員給与等負担金（26人） 1億8,270万8千円

その他、広域連合の組織運営に関する事務経費

●主な増加要因

派遣職員1名増員、備品（公用車）の購入費用、訴訟弁護委託料の追加によるものである。

後期高齢者医療特別会計

●当初予算額

2,092億9,946万7千円（対前年度比 0.6%増）

●主な事業内容

保険給付費 医療機関等に支払う医療費等の負担金

2,085億5,632万3千円（対前年度比 0.6%増）

総務費 被保険者の資格管理・給付に係る事務経費、電算機器の賃借料等

3億7,559万9千円（対前年度比22.9%増）

保健事業費 健康診査業務委託料、市町実施の高齢者の健康づくり事業への補助等

2億6,190万9千円（対前年度比 0.2%増）

●主な増減要因

- ・保険給付費については、被保険者数及び一人当たり医療費の増によるものである。
- ・総務費については、機器更改による委託料やリース料等の増によるものである。
- ・保健事業費については、被保険者数の伸びに伴う健診対象者の増によるものである。
- ・県財政安定化基金拠出金については、皆減である。